



研究テーマ

- 1 魚類とエビ類の免疫賦活剤の開発
- 2 魚介類の疾病診断技術の開発
- 3 魚類のサイトカインの機能に関する研究



酒井 正博

さかい まさひろ
農学部
応用生物科学科
食品機能化学講座

教授

キーワード

免疫賦活剤、遺伝子、魚類、エビ類、サイトカイン

特許情報・

共同研究・

応用分野など

クルマエビ科生物の急性ウイルス血症に対するワクチン（特許第 5649188 号）

研究概要

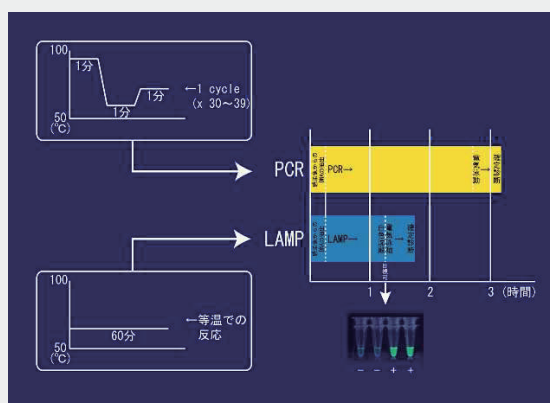
魚類とエビ類の免疫系の遺伝子をクローニングしその機能解析を行っている。さらに、これらの遺伝子を利用し、新たな免疫賦活剤の開発を行っている。
LAMP 法を利用した魚介類の疾病診断技術の開発を行っている。

1 魚類とエビ類の免疫賦活剤の開発

魚類の有用な免疫賦活剤の評価についての研究を行っている。現在までに、水産増殖分野において多くの免疫賦活剤を開発し、実用化している。

2 魚介類の疾病診断技術の開発

新しい遺伝子診断法である LAMP 法を、水産学の分野で世界で最初に導入した。現在までに、魚類の細菌性疾患、ウイルス性疾患および寄生虫による感染症の診断方法を確立している。



3 魚類のサイトカインの機能に関する研究

世界で最初に、魚類の IL-2, 6, 7, 10, 15, 22, 34, TNF β 等の遺伝子のクローニングを行った。これらの遺伝子を、魚類のプロバイオティクスの開発に応用した。

ホームページ

食品衛生・免疫学研究室 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/abs/staff/sakai.html>

技術相談に応じられる関連分野

・魚介類の疾病の診断法

メッセージ

・共同研究の希望テーマ:免疫賦活剤の開発
・「魚介類の免疫・プロバイオティクスの開発」というニーズがあれば、ぜひ教えてください。